

高崎商科大学短期大学部・平成30年度運営方針

I 前文

本学は、魅力ある教育・研究機関として改善・改革を継続し、永続的な発展をめざす

- ・自主・自立の建学の精神に立ち、社会的使命を果たす
- ・「実学教育」「人間教育」「地域社会への貢献」の教育理念に基づき、ビジネス社会の即戦力となる人材を育成するとともに、「知の拠点」として地域社会との緊密な交流・連携によって、その発展に積極的に貢献する

II 課題と展望

1 学生を「面倒見よく育てる大学」として、地元で最も信頼される短期大学をめざす

- ・学生生活満足度の高い・資格と就職に強い地域密着型の短期大学部の「ブランド」を確立する。入学定員の確保・就職内定率100%をめざす

2 教学体制の確立

- ・DPに掲げる「実践力」と「自ら地域と関わることができる能力」を身に付けるため、アウトキャンパススタディを充実、ロングキャリア力を養成する

3 今後の展望

- ・社会人向け教育と編入指導を導入、新コースの設定、専門職学科を検討する
- ・附属高校・地元高校との連携を維持・強化する

III 大学運営

1 教育と研究

- ・アクティブラーニングを導入、3つのポリシーに留意し授業改善を行う
- ・地域社会の要請に応じて、研究を進め成果を還元する

2 学生生活

- ・入学した学生を就職内定・卒業まで徹底して面倒をみる。学習・生活満足度を高めて一人ひとりのキャリア形成を支援する

3 社会・地域貢献

- ・社会・地域貢献(公開講座、フィールドワーク、地域の活性化など)に努める

4 広報戦略・IR活動を強化

- ・ステークホルダーに向けて広報活動を充実させる
- ・学内外のデータを収集・分析し、運営に活用する(ベンチマーキングを重視)

5 組織人としての行動

- ・全学イベント(彩霞祭・体育祭・合同企業説明会など)は、全員参加とする
- ・教職員らしい品位を保ち法令や規律を遵守し、快適な職場環境を確保する
- ・FD活動とSD活動を連携させ、教職協働により大学運営に取り組む
- ・速やかな「報・連・相」で情報を共有し、業務を効率よく推進する
- ・普段から経費の節減に努める(入るを量りて出づるを制す)

6 対外関係

- ・産官金言民学の連携、国内外の大学等との連携を維持・強化する
- ・国の補助事業等に応募申請する

※「運営方針」のもとに、各個人・各組織はPDCA(計画・実行・評価・改善)を実践する